

北鎌倉女子学園中学校

二〇一八年度

日本語4技能入試

パイロット問題

【日本語4技能入試について】

北鎌倉女子学園の教育の目的は「高雅な品性」の涵養です。品性を備えた人間とは、優しく他人を思いやる心を持つている人のことでしょう。また、本校では「人間力」を育むことも目標に掲げています。「人間力」を育む力には「人間関係を築く力」「社会の中で行動する力」「人生を切り開く力」などがあります。

このような「品性」「人間力」を磨き向上させるためには、自分を理解し、他人を理解し、自分を表現できることが必要です。その基礎となる力が日本語4技能 ①『聞く力』 ②『書く力』 ③『読む力』 ④『話す力』です。この入試は4技能の力を問う問題になっています。ぜひ挑戦してみてください。

【日本語4技能入試の形式・実施方法・評価について】

①『聞く力』

問う力：「誰が、いつ、どこで、何をし、何を感じたか」など、要点を聞きとれているかを確かめます。

形式：一斉テスト

配点：二十五点

時間：十分

方法：日本語の文章の朗読を放送します。聞き取った内容についての問題を出します。

朗読の音声は学園のホームページにて聞くことができます。また、朗読文（プリントA①）を入れてありますので、保護者の方などが読んでいただき、問題を解くことも可能です。解答用紙（プリントB）をご活用下さい。

評価：基本は模範解答通りに採点しますが、記述問題に関しては部分点がつくことがあります。

②『書く力』

問う力：自分の考えを理由や具体例とともに文章に書けるかを確かめます。

形式：一斉テスト

配点：二十五点

時間：三十分

方法：自分の考えなどを三〇〇字以内で書く問題です。解答用紙（プリントC）をご活用下さい。

評価：左記のA～D四段階分けの採点

A 問いかけに対する理由が明確で、具体例と合わせて内容もよくまとまっている。二十五点

B 問いかけに対する理由はあるが、具体例がなかったり、あっても理由の補完になっていない。二十点

C 問いかけに対する文言はあるが、理由が理由として成立していない。十五点

D 問いかけを理解できずに、ずれた視点で述べている場合は採点不可。〇点

※A～Cに関しては、その他いくつかの減点項目があります。

③『読む力』

問う力：正しく文章を発声できるか、正しく漢字が読めるか、などを確かめます。

形式：個別テスト

配点：二十五点

時間：話す力と合わせて約十五分

方法：その場で渡された文章を最初は黙読し、その後、その文章を朗読してもらいます。

評価：「正確さ」「滑らかさ」「声の大きさ」「速さ」「態度」の5項目を評価します。詳細は次頁の表をご覧ください。

④『話す力』

問う力：朗読した内容を理解できているか、自分の意見を自分の言葉で伝えることができるかなどを確かめます。なお、配付する問題文はありません。

形式：個別テスト

配点：二十五点

時間：読む力と合わせて約十五分

方法：朗読した文章についての質問（問1～問5）をし、自分の考えを述べる問題（問6、問7）を出します。プリントA④がその問題になりますので、保護者の方などに質問を出してもらって下さい。

評価：問1～問5については模範解答通りに採点しますが、答えによっては部分点がつくこともあります。

問6、問7は「質問に対する解答になっているか」「相手の目を見て落ち着いて話をしているか」

「理路整然としてわかりやすいか」「適切な表現を用いているか」「オリジナリティがあるか」の5項目を評価します。

③『読む力』評価方法

項目	正確さ	滑らかさ	声の大きさ	速さ	態度
5	漢字や単語の意味を理解し、0.5力以外、正確に読むことができる。	最初から最後まで、正しい箇所での息継ぎをし、0.5力所以外、言い直しもなく滑らかに読むことができる。	最初から最後まで、相手に伝わる適正な大きさの声で読むことができる。	最初から最後まで、相手が聞き取りやすい速さで読むことができる。	最初から最後まで、落ち着きを持った態度で、相手に伝えようという意思を持ち、読むことができる。
4	漢字や単語の意味を理解し、6.10力以外、正確に読むことができる。	最初から最後まで、正しい箇所での息継ぎをし、6.10力所以外、言い直しもなく滑らかに読むことができる。	全体の10%程度小さかったり大きくないところもあるが、おおむね適正な大きさの声で読むことができる。	全体の10%程度速くなったり、遅くなったりするところもあるが、おおむね適切な速さで読むことができる。	全体の10%程度落ち着きがなくなるところがあるが、おおむね自信を持って読むことができる。
3	漢字や単語の意味を理解し、1.15力以外、正確に読むことができる。	最初から最後まで、正しい箇所での息継ぎをし、1.15力所以外、言い直しもなく滑らかに読むことができる。	全体の30%程度小さかったり大きくないところもあるが、おおむね適正な大きさの声で読むことができる。	全体の30%程度速くなったり、遅くなったりするところもあるが、おおむね適切な速さで読むことができる。	全体の30%程度落ち着きがなくなるところがあるが、おおむね自信を持って読むことができる。
2	漢字や単語の意味を理解し、1.620力以外、正確に読むことができる。	最初から最後まで、正しい箇所での息継ぎをし、1.620力所以外、言い直しもなく滑らかに読むことができる。	全体の50%程度小さかったり大きくないところもあるが、おおむね適正な大きさの声で読むことができる。	全体の50%程度速くなったり、遅くなったりするところもあるが、それ以外は適切な速さで読むことができる。	全体の50%程度落ち着きがなくなるところがあるが、それ以外は自信を持って読むことができる。
1	漢字や単語の意味を理解し、2.125力以外、正確に読むことができる。	最初から最後まで、正しい箇所での息継ぎをし、2.125力所以外、言い直しもなく滑らかに読むことができる。	全体の70%程度小さかったり大きくないところもあるが、それ以外は適正な大きさの声で読むことができる。	全体の70%程度速くなったり、遅くなったりするところもあるが、それ以外は適切な速さで読むことができる。	全体の70%程度落ち着きがなくなるところがあるが、それ以外は自信を持って読むことができる。
0	2.6力以上、不正確なところがある。	2.6力以上、滑らかに読むことができないところがある。	全体を通して、相手に伝わる大ききさの声で読むことができない。	全体を通して適切な速さで読むことができない。時間内に読み切ることができない。	全体を通して、落ち着きを持って読むことができない。